

同窓会の年一度の定期総会及び懇親会が、平成十八年六月二十四日(土)に京成ホテルミラマールにおいて開催されました。

総会においては、平成十七年度の事業報告、会計報告、監査報告が行われ承認されました。

また、平成十八年度事業計画及び学校創立八十周年記念事業を支援する件を含んだ予算の審議が行われ、承認されました。

総会後の懇親会には、来賓として長戸路政理事長、加々美修校長、

後援会石山健作会長、学校教職員十二名の先生方にご臨席いただきました。

懇親会では、学校創立八十周年記念事業の進捗状況や学校の近況の話しが、長戸路政理事長、加々美修校長先生からありました。

久々に会う級友や先生方との語りいで、楽しい懇親会となりました。

平成十九年度の総会及び懇親会は六月二十三日(土)に開催されますので、同窓会員の皆様の出席をお願いします。

平成18年度 同窓会総会 及び 懇親会開催される



加々美修先生ご退職祝賀会 盛大に開催される

平成十九年四月二十七日(金)、三井ガーデンホテル千葉において、平成十九年三月三十一日をもって、千葉敬愛高等学校校長を退任された加々美修先生ご退職祝賀会を開催しました。

加々美先生は、平成十三年度副校長就任、平成十四年度からは校長として務めてこられました。この間新校舎建設及び創立八十周年記念事業等にご尽力されました。この功績を称えるために同窓会、PTA、後援会の三団体で「加々美修先生ご退職祝賀会」を開催したものです。

当日は加々美先生を慕う方々七十名が集まり、先生を囲んで親しく思い出話がつきませんでした。先生の今後のご活躍をご祈念申し上げます。

剣道部OB会総会のご案内

会員各位のご支援により、千葉敬愛高校剣道部OB会は、七年目の活動に入りました。平成十九年度の活動方針と会の拡充についてご意見を賜りたく下記により総会を開催いたします。

OB会員は勿論未入会の剣道部OB諸君の積極的な参加をお待ちしております。



記

日時 平成十九年九月八日(土)
受付 午後二時三十分
開会 午後三時
場所 千葉敬愛高等学校同窓会室(五階)
会費 二千元
出席の連絡(八月二十日まで)及び
会についてのお問い合わせ先
〒266-0801 尾崎印刷棟内 村山勝三
TEL 043-266-1080
FAX 043-266-1070

平成十九年度 事業計画(案)

平成十九年度の同窓会事業を次のとおり計画(案)として、常任理事会及び総会に提案いたします。

- 1、会報「敬愛」第三十号を発行する。
- 2、同窓会総会及び懇親会を六月二十三日(土)に開催する。
- 3、常任理事会を開催する。
- 4、事務局会議を必要に応じ開催し、会員情報の収集・連絡、会運営のための計画・検討、会報の編集を実施する。
- 5、組織委員会・財政委員会を必要に応じ開催し、会の活性化を図る。
- 6、同期会等開催への援助をする。
- 7、学校の生徒部活動へ奨励金を贈る。また、該当者に奨励金を贈る。
- 8、千葉敬愛高等学校関係団体(同窓会・PTA・学校後援会) 役員の見学会に参加する。
- 9、二月に本年度卒業生の同窓会入会式を挙げる。席上卒業記念品を贈呈し、常任理事及びクラス幹事を任命する。
- 10、その他、同窓会発展のための活動。

サン パチ カイ 三 八 会

昭和三十八年卒業

代表 北 田 正 徳

千葉市稲毛区穴川に所在したほろほろの木造、隣建で通称松葉校舎にて、私たちが男女共学制度となり、共に学び果立ったA・B・C・三クラス合同の第一回同期会を五月二十八日(日曜日) 京成電鉄ユーカリが丘駅前のウイシントンホテル・ユーカリのホールで行いました。

参加人員三十三名、綱代先生を迎えて楽しいひとときを過ごすことが出来ました。四十二年ぶりの再会、そして感動でした。

多少の面影が残って懐かしい学友と交流が出来たことは、素晴らしいことでした。

平成十七年四月から個人情報保護法が施行されたことは、皆様ご存知でしょうか、いざ同期会を催すにあたり、同期生の住所検索を二年がかりでさせていただきましたが、困難を極めました。

この間、同窓会長長石橋実氏・事務局長角田獎氏をはじめ他、同期生のご支援とご協力を頂きましたことをこの場をお借りしまして、心からお礼申し上げます。

宴会及び懇親会になってからは多種多様な話や昔話に花が咲き、あつと言う間の三時間でした。

次に次回は別室でのカラオケ・社交ダンスと進み無事終了しました。メンバー五名の突然の提案にも関わらず、

当日、快く参加して頂いた綱代先生・同期生に大変感謝しております。

また、事情があつて参加できなかった同期生の方々から宜しくお伝えくださいとのメッセージがあつたことを添えさせていただきます。

人は何年間も会う機会がなくても巡り合うと、心とはこういうことかと言ふことはかりでした。

如何に人との繋がりは大切な事ということでしょうか、このようなことを肝に銘じて精進していきたいと思ひます。

それから、同窓会事務局から合同クラス会へ奨励金ありがとうございました。私立千葉敬愛高等学校の更なる発展と活躍を祈念致します。

第十二回 千葉敬愛高等学校 関係三団体新年会開催

恒例の「千葉敬愛高等学校関係三団体新年会」が、平成十九年一月二十日(土)に三井ガーデンホテル千葉において開催されました。

来賓として加賀美校長始め十五人の教職員の先生方にご臨席いただき、同窓会、後援会、PTAの役員八十九名が集まり、昨年行われた創立八十周年記念事業、校舎建設などの話して和やかな雰囲気の中新年会が進行しました。

そして、ビンゴゲームでは、毎回後援会の方々が厳選していただいております景品をビンゴがでるたびに、皆さん笑顔で受け取っていました。



平成十九年同窓会入会式と新常任理事・クラス幹事の紹介

新卒業生54名を迎える「同窓会入会式」を五月二十八日(水)に行いました。

十一クラスから男女一名ずつ計二十二名のクラス幹事を任命しました。また、その中から男女一名ずつの学年代表を常任理事に任命しました。

常任理事の方々は学年代表として、同窓会常任理事会に出席していただき、クラス幹事の方々はクラス会などの時に代表として活躍していただきたいと思えます。

十九年卒業の同窓会常任理事とクラス幹事は、次の方々です。(敬称略)

常任理事

- D組 氏家 一輝
- G組 細谷 愛美

クラス幹事

- A組 安藤 俊介・板橋麻里子
- B組 松岡 雄介・小野寺 唯
- C組 川中子 竜・芝野実夏子
- D組 氏家 一輝・佐々木麻衣
- E組 平井 亨・古川 舞
- F組 横濱 大悟・久保木麻未
- G組 津布久泰隆・細谷 愛美
- H組 内田 悠介・多田 麻美
- I組 外山 司・天野 結香
- J組 諸根 佑典・松永香緒里
- K組 井上 祐貴・木村 梨絵

戦時生活

昭和十六年卒業

岩崎 敏夫

昭和十一年二二六事件のあった四月に入學、卒業した十六年の十二月には大東亜戦争が始まった。従って在学中は至って戦時色が濃厚であった。

中学生は制服制帽に巻脚絆(ゲートル)で、色こそ違え陸軍と同じ姿だった。これは軍規教練が必須科目であったからに外ならない。教育内容は銃後の守りではなく、第一線に

立っての即実戦の軍事訓練であった。三年生から銃訓練が始まり、兵器係を卒業するまで勤めた。又年一回、富士裾野の廠営生活があり、山坂越えて、空砲使用の実戦訓練もあった。廠舎に帰っても食事・掃除当番以外は三十八式歩兵銃と軽機関銃の分解洗浄があった。火薬ガスが残っていると銃腔に黒錆が出るから念入りにやらねばならない。銃が少ないので半数以上は見学であったが何時か自分の番が来た時、実際にやらされるので気が抜けない。五年生(昭和十五年)の時、滝ヶ原廠舎から乙女峠(車道でなく人道、笹を掴んでよじ登る難路)を越えて三十杆の行軍で強羅泊まりが修学旅行の代わりであった。勿論又、銃線の不遑番立ちもあった。

千葉連隊区司令部主催の中等学校五年生の実弾射撃大会が佐倉五十七連隊射場で行われ、一番良い銃を持って行ったが三百米の覆射ちで五発四十三点八位(十八人)の成績であった。五年生の時は一校一名の配属将校が複数校兼任となった為、一・二年生の初期訓練を担当することになり、一年生の中隊長となった。不動の姿勢から始まり、整列・行進・方向変換を秋の査閲までに教えるのに苦労した。卒業の翌月、当時の鉄道省に備員採用、東京鉄道局千葉管理部配属で袖に蛇腹一本ついたサージの制服を着た。前年までは甲中卒も一年間備員(ナツバ服)の労務職であったが、いきなり事務職採用であった。これは軍の召集で兵役に取られた事務職不足による繰り上げ補充が理由だった。一般教育中、選抜で車掌見習いとなり、十月には電車車掌で総武線千葉御茶ノ水間を乗務した。当時は二両又は三両編成で、朝夕は二両の付属編成が一つ又は二つ付いていて最長でも六・七両編成であった。付属車両には木造車両も混じった。木造車には車体幅が狭くホームとの間が開く為、入口部だけ床と同じ高さの踏台が出張っており、「下駄電」の語源だと聞かされた。印象に残るのは十七年四月十八日、ドウリットル爆撃隊B・25による東京初空襲である。乗務中、浅草橋〜秋葉原間の上り勾配で後方を見ていた時二百米の超低空で見慣れない双発の爆撃機が追って来た。空襲警報は出ていない。秋葉原駅進入直前、チバリと星形マークが見えた。米軍機の空襲と知ったのは千葉に帰ってからであった。

昭和十七年十月千葉周辺近距離運轉のガソリンカーが小型蒸気機関車(C12型)牽引の客車となり、電車乗務一年で列車組に移った。三組だった列車組が二組となりB組車掌である。旅客列車はA・Bが組となつて二人乗務であるが、貨物列車は一人乗務でA組は通過列車主体、B組は貨車を入れ換える鈍行列車担当である。



一番長い乗務は安房鴨川駅を昼前の十一時四十分発房総西線（現内房線）の列車で千葉駅着が夜中の零時二十分、実に十二時間四十分、全駅で入れ換え作業をし、緩急車に揺られ乍ら二食を食べる長道中であつた。当時はトラック輸送が望めず、房総方面特産の鮮魚・枇杷・蚕豆等の生鮮食料品が多く、積み込みが発車時刻に間に合ったからと、臨時連結の申込みがあり、容量が一杯の時は薪・木炭積貨車を後廻しにするよう交渉したりの苦労があつた。

戦争も激しくなり指揮命令系統の分散化から鉄道青年隊が組織され小隊長になつた。指導者養成で各種の講習会に参加した。最初は香取神宮に十日間泊まり込みで、一般教養、次が日本赤十字社員による延べ一週間の応急処置法訓練、最後に鉄道第一連隊十日間の体験入隊があつた。

昭和十八年、駅に女子職員が採用された。中間駅では貨車の入換にも従事させた。停車中の貨車で練習したものの列車編成中の貨車制動ホースは圧力がかかつておるので、女ではなかなか切れず、代わりに切ったりコツを教えることも間々あつた。中には無帽で来て、連結機の割ピンに毛髪が絡み鉄で切り離したこともあつた。翌十九年には車掌にも女子が採用され、教習法や避難誘導訓練等の指導は、青年隊小隊長の仕事とされた。毎年三回程、車掌は補充されたが、それでも足りず、深夜運転の軍用臨

時貨物列車乗務は、日勤と日勤の間に割り当てられた。当時、香取・茂原の両飛行場が建設中で、資材（砂利・砕石）を駅の間で取り卸す貨物列車が終列車と初列車の間に各二本宛運転され、四人車掌が必要であつた。予備員が居らず、これに指定されると帰宅の時間がなく、車掌区仮眠室泊まりの飯盒飯となつた。

通勤時間帯の旅客列車は文字通り寿司詰状態、デッキ扉は閉まらずハミ出している有り様で、信号機に触れて怪我人も何回かあつた。列車の増発は考えられず、客車を荷物車に換えて乗車人員を増やすのが一杯の努力だつた。

このような逼迫した中で昭和十八年佐倉で徴兵検査を受けた。前日夕方旅館集合の知らせであつたが、飛行場建設資材輸送の徹夜乗務をし、二時間仮眠、八時旅館到着で参加した。

この年から第一乙種合格まで現役編入となり、結果は第二乙種の補充兵であつた。原因は飯を噛み噛みの入れ換え作業や睡眠不足で体重が四十八斤しかなかったからである。

昭和十九年八月六日臨時召集（赤紙）で柏の東部第百二部隊（第四航空教育隊）第四中隊（計器）に入隊、翌日から高度計や速度計の航空計器の学科が始まつた。時計屋のように虫眼鏡を目に嵌めて日セツトを扱う仕事である。従つて日

夕点呼前の有名な（？）ピンク等はなく、柱に掴まつての蟬鳴等であつた。兵舎は寝台をはずして中段を造り、床に藁布団を敷いて二倍の人員を収容していた。九個中隊約三千人の部隊が八千人近い人員を収容していた。従来どおりの炊事場は二交代制で昼夜炊飯続きであつたが、個人当たりの量は至つて少なかつた。

十日後に学校教練検定合格者は第一中隊に集められ、初年兵三十九人に古参兵六名を加え、第四内務班となつた翌日から自動車兵として始動・停止・前進・後退と実技訓練が始まつた。内務班に於いては全員が役を持たされ、兵器係を命ぜられた。その晩、中隊兵器庫に呼ばれ、三十八式歩兵銃の分解手入れ試験があり、あまりの手際よさに、理由を聞かれ「中学三、五年生まで兵器係を担当、軽機までは手入れ可能。」と答えた処、即日被服係と交代。

並業（一般訓練）はいきなり営外に出て、歩哨線設定の小隊長業務であつた。これは鉄道省同様、各個教練は習得済と教育期間短縮の一途であつた。十月には幹部候補生採用試験に続いて甲乙選抜試験、十一月三日には一期の検閲で起動車（戦斗機のエンジン始動の自動車）を担当、無事に合格し自動車手を拝命した。

一般兵は十一月中に第一陣が比島に、第二陣が沖繩に転属したが、生還者は一人も居ない。甲種幹部候補生十四名は仙台陸軍

飛行学校（予備士官学校）が学徒動員の特別幹部候補生で寒がつており、入校が四月まで延期となつた。階級も伍長となつたが下士官室が無く、候補生班を作り当番兵もついた。

候補生は種々の業務に分かれた。中でも米軍文書の翻訳には多数が動員された。自分は疎開した自動車で空いた車庫に兵舎から余つた寝台を使つての、臨時内務班長として初年兵教育に当たつた。この初年兵は、徴用令で集まらなくなつた工員補充の為、丙種合格者を軍に臨時召集し、中島飛行機工場（群馬県）へ送り込む工務兵である。軍服を着せる以上は部隊として行動できるまでの教育であつた。中学五年生の時、一年生の中隊長経験が役立った。臨時内務班長は二回、延べ八名中、部隊長査閲で好成绩の二名が将校集会所の昼食会で披露され、甘い酒を戴いたのも懐かしい思い出である。

既に軍曹階級まで進級した四月になつて仙台陸軍飛行学校（現仙台空港）に入校した。各教育隊から集められた四十九名で、遠くは満州里・嘉義・太刀洗・小樽等各隊から二名集められ、我々四教の十四名は最多であつた。将校教育は学科が主で、術科は疎開区隊への物資補給、野戦補給廠の航空燃料分散輸送で終戦を迎えた。



同窓会のあゆみ

平成18年

5月20日(土) 総務、式典合同委員会が学校にて開催され、80周年記念式典の予算編成・式次第・記念講演等協議する。

5月22日(月) 会報敬愛29号を6月1日付で一五〇七二通発送する。

6月1日(木) 事務局会議開催。平成18年度第一回常任理事会準備の為。

6月10日(土) 平成18年度第一回常任理事会を16時より京成ホテルミラマールで開催。役員23名出席する。

6月18日(日) 第23回長戸路林中学生柔道大会が敬愛アリーナ柔道場にて開催され、同窓会より佐野副会長出席する。

6月24日(土) 平成18年度総会を16時より京成ホテルミラマールで開催。

終了後、懇親会に入る。出席会員51名、来賓に学校より11名、後援会1名出席する。

7月8日(土) 千葉敬愛高等学校後援会総会が9時30分より学校にて開催され、同窓会より石橋会長出席する。

9月9日(土) 千葉敬愛高等学校創立80周年記念事業並びに新校舎落成記念式典実行委員会総会が14時より学校マルチホールにて開催され、同窓会より石橋会長他委員が出席する。

10月7日(土) 千葉敬愛高等学校創立80周年並びに新校舎落成記念式典が10時より第二体育館にて行われた。其の後12時30分より長戸路アリーナ(第一体育館)に移動し、祝賀会が行なわれ、同窓会員多数出席する。

10月21日(土) 第41回全国高等学校総合体育大会男子ソフトボール競技大会優勝祝賀会がアパホテル東京ベイ幕張ホールにて行なわれた。同窓会より数名出席する。

10月27日(金)・28日(土) 千葉敬愛高等学校18年度の文化祭が開催され、石橋会長出席する。

11月28日(火)

16時より学校応接室にて12月9日の80周年実行委員会解散式に備えて、報告書を協議作成する。委員10名が出席。同窓会より小倉、角田両委員出席する。

12月7日(木)

千葉敬愛学園柔道OB会年次総会に石橋会長出席する。

12月16日(金)

千葉敬愛高等学校PTA忘年会に石橋会長出席する。

平成19年

1月20日(土)

千葉敬愛高等学校関係三団体新年会を14時より「三井ガーデンホテル千葉」にて開催。学校より16名、同窓会24名、PTA25名、後援会24名出席する。

2月17日(土)

事務局会議開催。会報発行の打ち合わせ、第一回常任理事会、総会等について検討する。

2月22日(木)

本年度(千葉敬愛高校・敬愛学園高校・敬愛大学)卒業生を柔道OB会に迎える茶話会が、学園会議室で開催され、石橋会長出席する。

2月28日(火)

平成18年度卒業生同窓会入会式を挙行。石橋会長、岡野事務局長出席する。

3月1日(木)

千葉敬愛高等学校第79回卒業証書授与式に石橋会長来賓として出席する。卒業生四五四名。

4月10日(火)

千葉敬愛高等学校入学式に石橋会長来賓として出席する。

4月16日(月)

事務局会議開催。会報30号の編集及び加賀美校長(退職祝賀会、常任理事会・総会等)について検討する。

4月27日(金)

加賀美校長(退職祝賀会)を、三団体主催で「三井ガーデンホテル千葉」にて開催。PTA18名、同窓会20名、後援会32名出席する。

4月28日(金)

木村幸男・日暮富士雄 両監事に平成18年度会計監査を受ける。

会 員 消 息

平成18年4月1日から平成19年4月30日までに、事務局が連絡その他で把握した会員の消息です。【敬称略、氏名前の数字は卒業年。()は旧姓】

物 故 者					
S7	海宝 四郎	S17	柳川 直美	S20	宮崎 忠夫
S8	大森 正	S18	竹林 泰夫	S21	成毛 広
S11	白井 六郎	S19	鈴木 誠二	S23	立田富士雄
S13	萩田 寛一	S19	千本松隆次	S23	大島 貢
S14	池田 与八	S20	池田 恭	S23	金沢 克雄
S15	具島 太郎	S20	永井 儀一	S27	井口 武
S28	石橋 憲尚	S43	能勢 栄夫	S30	浅川 護
S31	加藤 晃石	S48	田中 健午	S31	加藤 晃石
S40	石出 良	H元	西郡 幸雄	S40	石出 良
S41	岡田 優			S41	岡田 優
S42	斉藤三喜男			S42	斉藤三喜男

住 所 変 更 ・ 判 明 者

S14	山崎 猪一	江東区塩浜1-4-33 ニュートンプレイスサウスコート304	H5	佐々木(神谷)友紀 岡本 武志	足立区東和5-8-11-202 千葉市中央区千葉港8-2 ブラウシア106号	
S30	木内 正夫	枚方市山之上新3-20-7		深田 大輔	千葉市中央区道場北1-9-3-103	
S31	齋藤 輝雄	千葉市花見川区花園3-15-14		H6	宮本 知則	千葉市稲毛区稲毛町5-419-11
S41	寄主 司	千葉市若葉区千城台東4-29-14		H7	佐伯(長澤)瞳	オーストラリアクスマニア在住のため 佐倉市王子台6-12-4長澤様方
S43	大野 守	佐倉市ユーカリが丘3-8-14			佐倉市上座1204-10ファミリー1202	
S47	内田佳司郎	桶川市下日出谷943-63			大阪市鶴見区鶴見4-10-2-503	
S48	白井 正秋	千葉市中央区矢作町486-8			横須賀市上町3-49 CLAIR DE LUNE 307	
S49	伊原 英夫	千葉市中央区大巖寺269-7		H9	香取 良美	香取市大戸1705-5
S50	大久 真人	佐倉市稲荷台1-8-1-611		H10	白鳥 拓人	千葉市稲毛区園生町646-1
S51	深山 秀昭	千葉市若葉区桜木2-14-5			横浜市戸塚区平戸3-6-10ニチアス平和台社宅504号室	
	志津百合子	千葉市若葉区桜木町602-62			足立区小台2-15-15-202	
S52	伊東(橋本)聖子	千葉市若葉区若松町543-76			入江 実	江東区大島7-41-11-404
S55	山口 直樹	千葉市若葉区若松台2-24-8			佐藤(原)由梨香	佐倉市城774-1 アンソレイエII 101
S57	斉藤 克志	佐倉市白井田763-21		H12	前田美紗緒	千葉市若葉区若松台1-16-9
S58	細川佐代子	習志野市袖ヶ浦1-29-1 マープル津田沼スカイハイツA棟505号		H14	實川雄一郎	厚木市下荻野535-2 プレメンM2-202
S61	杉(橋本)珠美	四街道市鹿渡1132			原 麻也子	厚木市下荻野535-2 プレメンM2-202
S62	中井(原田)亮子	松戸市穆台1010 ティアラシティ1205号			鶴田 智之	千葉市稲毛区稲毛1-1-10
H元	大村(籠)輝江	千葉市中央区千葉寺町1248-2		H15	長谷川 隆	四街道市栗山1052-12
H2	荻野 茂之	千葉市美浜区高浜4-5-5-403			加賀谷絃子	市川市国分1-6-19
H3	金高 功男	佐倉市鍋木町1049-12		H17	海上 渙	成田市東和田297-7
H4	吉岡 智宣	四街道市下志津新田2545-756			門久 智子	四街道市千代田1-27-6
	勢司真理子	成田市江弁須364-12 エトワールヒルズB201			市原 有起	千葉市中央区蘇我町2-996-1
	瀧澤 知子	八千代市萱田町965 シャーメゾン上の山101		H18	上野 大地	習志野市津田沼1-12-7-612
	藤井(池田)美和	習志野市東習志野1-10-5-109				

祝 叙 勲

昭和二十六年に関東高等学校を卒業されました富岡秀夫さんが平成十八年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。
心よりお祝いを申し上げます。
総会の席で同窓会より御祝品を贈呈させていただきます。



祝 当 選

4月に行なわれました統一地方選挙において、同窓生が次のとおり当選されました。

■千葉県議会議員

佐野 彰さん(昭和四十二年卒)

大野 眞さん(昭和五十二年卒)

■船橋市議会議員

木村哲也さん(昭和六十三年卒)

■横芝光町議会議員

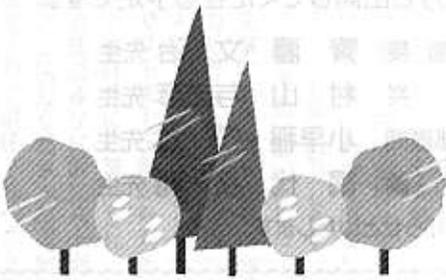
杉森 幹男さん(平成八年卒)

おめでとー(ー)ございます。



先生の異動

昇格	転出	退職	探用	転入
○専任教員 〈国語〉平山隆行先生 (期限付教諭より) 〈地公〉宇田川 勝先生 (期限付教諭より) 〈理科・生〉柳場 寛先生 (期限付教諭より) 〈英語〉松山大志先生 (期限付教諭より) 〈養護〉松田昌子先生 (期限付教諭より) ○期限付教諭 〈数学〉家子典万先生 (非常勤講師より)	○専任教員 〈英語〉武田麻梨子先生 (敬愛学園高校へ転出)	○非常勤講師 〈英語〉佐藤悦崇先生 〈理科化〉後藤昌紀先生 〈情報〉藤田 淳子助手 ○事務関係 〈事務長補佐〉島田文好さん	○非常勤講師 〈校長〉須田 繁先生 〈国語〉小松美穂先生 〈理科化〉片桐淳史先生 〈英語〉酒井秀貴先生 〈英語〉菅谷昌道先生 〈地公〉鈴木啓子先生 〈家庭〉小川絵梨花先生 〈国語〉大木俊恵先生 〈情報〉上田 麻由助手	○専任教員 〈英語〉今井洋一先生 (敬愛学園高校より)



事務局からのお願いとお知らせ

一、会費納入のお願い

同封の会費納入用紙で会費を忘れずに納入して下さい。
 会費は年間千円です。よろしくお願ひします。なお、毎年の納入がご面倒な方は、終身会費として二万円の払込をおすすめします。
 払込む時は、住所・氏名・卒業年・金額を必ず明記して下さい。
 二、住所変更、物故者、改姓等がありましたら、ぜひ左記までご一報下さい。
 〒284-0006 四街道市四街道二五二
 千葉敬愛高等学校同窓会事務局
 TEL0433-433101
 FAX0433-433158

三、「敬愛」に原稿をお寄せ下さい。

三、「敬愛」に原稿をお寄せ下さい。
 会員に知らせたいこと、考えている事柄、学友に関すること等なんでも結構です。
 送り先は、前記事務局にお願いします。

※総会・懇親会や常任理事会等で出席の返事をくれながら、お忘れなのか、当日無断で欠席する方が毎年何名かあります。会場には申し込んだ人数で支払いをしなければなりませんので、運営する側としては大変困ります。

四、クラス毎の同窓会、学年の同窓会、部活の同窓会等を開催する時は、早めに前記事務局までご連絡下さい。些少ですが助成金を差上げます。

四、クラス毎の同窓会、学年の同窓会、部活の同窓会等を開催する時は、早めに前記事務局までご連絡下さい。些少ですが助成金を差上げます。

五、クラス会などの案内状に新しいタッグシール(宛名シール)を出せますのでご利用下さい。

五、クラス会などの案内状に新しいタッグシール(宛名シール)を出せますのでご利用下さい。

六、住所変更その他で事務局に連絡を下さるときは、会報送付封筒の宛名シール右下の番号と卒業年を必ず一緒にお知らせ下さい。

六、住所変更その他で事務局に連絡を下さるときは、会報送付封筒の宛名シール右下の番号と卒業年を必ず一緒にお知らせ下さい。

岡野 義 広

TEL0433-496168
 FAX0433-496167

平成19年度 千葉敬愛高等学校同窓会

懇親会・総会のご案内

- 日時：平成19年6月23日(土) { 総会：午後4時～5時
●場所：京成ホテルミラフォーレ { 懇親会：午後5時～7時
TEL043-222-2111 ●会費：5,000円(当日会場にて)

アトラクションとして、千葉敬愛高等学校吹奏楽部(顧問 小早稲先生)によるミニコンサートを開催します。きっと心に残る演奏となるでしょう。

◎懇親会には、学園長・校長先生始め下記の先生方も出席して下さる予定です。

学園長	長戸路 政行先生	総務部長	齊藤 文治先生
校長	須田 繁先生	事務長	村山 与志彦先生
教頭	志保澤 秀幸先生	吹奏楽部顧問	小早稲 茂雄先生
教頭	新田 幸二先生	元教諭	網代 長利先生

※尚、本通知をもって懇親会及び総会のお知らせといたします。

平成18年度
敬愛高等学校同窓会
終身会費納入者名

敬称略順不同

S19 相澤 守
20 芳野 輔
20 村越 之
21 梅谷 善
26 石橋 長
27 西田 義
30 深澤 茂
35 花澤 德
38 粟飯 正
40 粟飯 原
41 石毛 正

S42 鈴木 啓
47 泉高 達
48 高矢 三
49 小田 林
50 田中 本
51 松本 沼
52 小林 俊
56 古島 三
58 齊藤 橋
59 齊藤 仁

H1 佐々木 綾子
3 角田 恵吾

平成19年
卒業生454名

編集後記

今回も事務局員の協力を得て会報を発行する事ができました。発行部数も一万八千通を越えました。それも記念すべき第三十号です。その本号に昭和十六年卒業の先輩から戦時生活の原稿をいただきましたので掲載しました。八十歳を越えているのに、大変元気で健康でしたので、執筆のお願いをいたしました。戦時中でしたので、練り上げ卒業した私には、身に沁みる思いでした。本当に有難うございました。本号も十六頁になりました。創立八十周年記念事業並びに、新校舎落成記念式典収支報告、加賀美先生ご退職祝賀会、盛大に開催される等、外の行事も充実させました。発行に関して事務局の皆様には大変お世話になりました。

角田 獎記



お知らせ

千葉敬愛高等学校創立八十周年の記念誌が若干残っています。

ご希望の方は、学校の事務室にお申し込み下さい。

価格 三、〇〇〇円